

2024年度町田市教育委員会

第4回定例会会議録

1、開催日 2024年7月5日

2、開催場所 第二、三、四、五会議室

3、出席者 教 育 長 小 池 慎一郎
委 員 後 藤 良 秀
委 員 森 山 賢 一
委 員 井 上 由 奈
委 員 関 根 美 咲

4、署名者 教育長
委 員

5、出席事務局職員 学校教育部長 石 坂 泰 弘
生涯学習部長 白 川 直 美
教育総務課長 高 田 正 人
学務課長 高 野 徹
指導室長 大 山 聡
(兼)指導課長
指導課担当課長 末 原 久 志
生涯学習総務課長 西久保 陽 子
生涯学習センター長 川 瀬 康 二
生涯学習センター担当課長 石 井 良 明
市民文学館担当課長 野 澤 茂 樹
(町田市民文学館長)
書 記 馬 目 拓 実
書 記 齊 藤 華 子
書 記 板 垣 有美子
速 記 士 帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第10号 町田市立学校の通学区域に関する規則等の一部を改正する規則について

原 案 可 決

議案第11号 第7期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について

原 案 可 決

議案第12号 第32期町田市文化財保護審議会委員の委嘱について

原 案 可 決

7、傍聴者数 2名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第4回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は後藤委員です。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず、私から報告をさせていただきます。

お手元の「主な活動状況」をご覧ください。

私からは、6月25日に行われました町田法人会 寄附感謝状贈呈式について報告させていただきます。

このたび町田法人会様から、4月11日に熱中症指数計アラームを各校5個ずつ、全部で310個ご寄附いただきました。このことについて法人の三橋信介会長に石阪市長より感謝状を贈呈させていただきました。今日も暑いですが、これからますます暑くなる時期を迎えるに当たり、体育の授業や校外学習の際に教員個々が熱中症対策ができることから、教育委員会としてもとてもありがたいご寄附をいただいたと考えております。

なお、町田法人会様からは、今までも図書や電子辞書、マグネットホワイトボードなどのご寄附をいただいております。

私からの報告は以上でございます。

そのほかの主な活動は、お配りしております資料のとおりでございます。

次に、委員の皆様からのご報告をお願いいたします。

○後藤委員 6月27日に市教委訪問で忠生小学校に伺いました。新しく着任した西校長先生から学校経営方針として、児童の学びと授業づくり、いじめ防止対策、地域連携教育の3つを柱とした説明を受け、その後、授業参観をいたしました。授業参観では、8つの授業デザインのうち、ICT機器の活用、見通しを持たせる導入、価値ある対話の共有、振り返りの設定に重点を置いたものが大半で、どちらかというと、構造的な板書とノート指導、思考ツールの活用に重点を置いたものは少なかったようでした。

この傾向は他の学校でも感じていたことなんですけれども、自主的に学び続ける力を育成するには、児童が自分の考えや思考したことをノートに記述して、それを表出することや、考えるすべの1つである思考ツールを使って考えることができる、そのようなことにも力を入れてほしいというふうに願っています。また、どの教師が指導しても、子ども一人ひとりに基本的な学び方が身につくように、学校や学年共通となる指導法の研究が重要なことだと考えます。「町田市教育プラン 24-28」の児童・生徒の学び続ける力を高めるための授業の改革を、学校ごとにしっかりと実現してほしいと大きく期待しているところです。

最後に、7月3日に鶴川第二小学校 60 周年記念式典に出席しました。6年生児童の立派な態度と呼びかけ、響き渡る歌声を聞いて、元校長としては大変感無量でした。

私からは以上です。

○森山委員 後藤委員のご報告と重なるところもございますが、私も7月3日の鶴川第二小学校の 60 周年記念式典に出席をさせていただきました。卒業までの間に1回あるかないかという周年のイベントでございます。その中で、先ほどのご報告にもありましたけれども、特に校歌斉唱は、児童のすばらしい歌声で、日ごろからの指導が非常に生きている、そういう光景を見せていただきました。

加えて、周年行事の中では、変遷といいますか、歴史といいますか、このあたりのところを振り返るということでの大きな意味を持つものだと思います。特に、今回の式典並びに掲示に関しましては、非常にわかりやすく掲示をしていただいた。そして、当日の記念式典の中では、我々が見せていただいても 60 年を振り返るのに非常にわかりやすい、非常に鮮明に映るような映像を見せていただきました。これは、あわせて地域の 60 年の歴史でもあるなということをつくづく痛感しました。地域の方々が、学校に対しての協力とかあるいは支援というものに、この 60 年間の中でどのようにかかわっていただいたのか。そういう面で見たとときに、60 年の鶴川二小の歴史の中で、地域との関係というのを

つくづく感じたところがありました。

以上、私のほうから 1 点ご報告をさせていただきました。

○関根委員 私からは 3 点ご報告させていただきます。

まず、6 月 27 日には町田市立忠生小学校の市教委訪問をさせていただきました。113 年前から地域の方々に支えられてきた伝統のあるこの学校が目指す学校像は、「一人ひとりの子どもが輝き、今日も 1 日楽しかったなと言って帰ることができる学校」です。校長先生からは、重点的に行っていることとして、楽しい授業、わかる授業を推進していくことはもちろんのこと、いじめの早期発見、対応に向けての取り組みや、地域と連携した教育活動の促進など、全ての教育活動において、子どもたちの成長を一番に念頭に置いているとの話をお伺いしました。

子どもたちはとても明るく、よくしゃべり、笑い、反応がよく、とても子どもらしい印象を受けました。確かに課題のある児童もたくさんいる中、先生方の工夫した授業の進行で、子どもたちも興味を持って、よく話を聞き、楽しんで学習している様子がよくわかりました。

7 月 1 日には、市教委訪問で市立町田第一小学校へお伺いいたしました。町田市の中で一番古い歴史を持ち、昨年度 150 周年を迎えた学校です。校長先生が掲げる「子どもまんなか主義」のもと、地域に根差した学校を目指すコミュニティ・スクール、教職員が一丸となって協議し活躍できる学校、わくわくポイント制を用いた明日につながる授業づくりを意識しながら、学校教育をされているとのことでした。

また、下校時に「さようなら」の言葉ではなく、「またあした」という挨拶をすることで、翌日に登校することが楽しみにになり、実際、児童の欠席も激減したとお聞きしました。なるほど、プラス思考で前向きな言葉を使うというほんの少しの工夫で、子どもたちの気持ちは大きく変わっていくものだとな納得、感心いたしました。

子どもたちはとても落ちついていて、立ち歩く子どももほとんど見られず、また、学年が上がるごとに学習に対する姿勢が整っており、子どもたちの成長をうかがい知ることができました。特にベテランの先生方の授業の進め方がとてもすばらしく、よく研究された上での授業展開でした。一方的ではなく、問いかけがとても丁寧であり、絶妙な間のとり方で、要点を押さえながら、ゆっくり、しっかりと声の大小をうまく使い分けた話し方をなさっており、子どもたちもとても真剣に話を聞き、学習に集中している様子がうかがえました。

7月2日には、町田市立南第二小学校へお伺いし、新しい学校である成瀬小学校の校歌を考える「南成瀬地区校歌制作児童交流事業」として、子どもたちによる交流イベントに参加してまいりました。夕方になっても30度を超える蒸し暑い時間でしたが、南第二小学校と南成瀬小学校の1年生から6年生の児童50人が集い、両校の管理職、教員、PTA、学校運営協議会委員、推進委員会委員、VC、教育委員会の職員らが見守る中で行われました。

今回も制作者であるオフィスカオルの濱野氏進行により、校歌の歌詞に込めた意味や思いをフレーズごとに細かくご説明いただき、その意味を知った上で、校歌を聞いた後の感想を子どもたち一人ひとりが書き出し、最後にグループ内で話し合い、意見をまとめて発表するという流れでした。「夢」、「未来」、「恩田川」、「虹の橋」、「みんなで一緒に」という成瀬地区ならではのキーワードがちりばめられた歌詞を読んで、子どもたちからは「元気がもらえる歌詞だし、全体的に優しくきれいなイメージの曲でとてもいいと思う」、「虹の橋という歌詞を聞くと、あのきれいな情景が浮かんでくる」、「みんなの思いが詰まっている感じがする」、「自分たちの住んでいる身近な場所である恩田川や虹の橋の歌詞が入っていてとてもうれしい」などなど、たくさんの感想を聞くことができました。

最後に、ぜひ一度歌ってみたいという子どもたちの強い要望で、全員が歌ってみたところ、そのすばらしい歌声に本当にびっくりしました。子どもたちは今回、歌詞のついた曲を2度しか聞いていないにもかかわらず、みんなが楽しそうに体を揺らしながら歌う様子を見てみると、両校の子どもたちが1つになったような気がして、とてもうれしく思いました。これからの統合に向けての活動も楽しみに見守ってまいりたいと思います。

私からは以上です。

○**教育長** 私並びに委員の皆様の報告につきまして、何かご質問はありますか。

また、そのほかに事務局も含めて報告はよろしいでしょうか。

それでは、以上で月間活動報告を終了いたします。

次に、日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第10号を審議いたします。本件については学校教育部長から説明いたします。

○**学校教育部長** 議案第10号「町田市立学校の通学区域に関する規則等の一部を改正する規則について」、ご説明いたします。

本件は、2024年7月15日に南大谷地区、東玉川学園三丁目地区及び東玉川学園四丁目地区における住居表示の実施のために町区域を新設することに伴い、同地区に存する市立

学校の通学区域の表記を改めるため、改正するものです。

1枚おめくりください。

改正内容でございます。別表第1の町田第一小学校、町田第二小学校、町田第三小学校、町田第六小学校及び南大谷小学校と、別表第2の町田第一中学校、町田第二中学校及び南大谷中学校の通学区域の表記を改めます。

また、4「補足説明」にあります。本改正に伴い、教育委員会第1回定例会にて上程済みである町田市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則については施行日が令和7年4月であることから、本規則の改正内容を反映させるために、第2条で必要な改正を行っております。

こちらの施行期日でございますが、令和6年7月15日からいたします。

1枚おめくりください。

改正する条文につきまして、改正前と改正後のものを掲載しております。

説明は以上になります。

○教育長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りします。議案第10号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第11号を審議いたします。本件については生涯学習部長からご説明いたします。

○生涯学習部長 議案第11号「第7期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について」、ご説明をいたします。

本件は、町田市生涯学習審議会条例に基づき、第7期町田市生涯学習審議会委員を委嘱するものでございます。任期は2026年3月31日までです。

1枚おめくりください。

選出区分「生涯学習又は社会教育の関係者」1名について、町田市生涯学習センター運営協議会から推薦がありましたので、新任1名を委嘱するものでございます。

資料もう1枚おめくりください。

委員全員の名簿を参考として載せております。

説明は以上でございます。

○教育長 以上で説明は終わりました。

これから質疑に入ります。ただいまの説明に関して何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了します。

お諮りします。議案第11号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

続きまして、議案第12号を審議いたします。本件については生涯学習部長から説明いたします。

○生涯学習部長 議案第12号「第32期町田市文化財保護審議会委員の委嘱について」、ご説明いたします。

本件は、町田市文化財保護条例に基づき、町田市第32期町田市文化財保護審議会委員を委嘱するものでございます。任期は2025年5月31日までです。

1枚おめくりください。

日本近現代史専門の学識経験者、新任1名を委嘱するものでございます。

裏面をご覧ください。

委員全員の名簿を参考として載せております。

説明は以上でございます。

○教育長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了します。

お諮りします。議案第12号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、日程第3、報告事項に入ります。

報告事項(1)について、担当者から報告をさせていただきます。

○指導室長(兼)指導課長 昨年度11月に開催いたしましたペーパーティーチャー研修

を今年度は3回実施する予定です。今年度も独立行政法人教職員支援機構玉川大学センターと共催で開催いたします。

対象者は主に教員免許状を保有している方で、公立小・中学校で臨時的任用教員や非常勤講師として働くことに興味をお持ちの方を対象としております。7月の開催につきましては、現在、既に申込受付をしているところでございます。

周知方法といたしまして、「広報まちだ」、プレスリリース、PR TIMES等を使いまして周知をしているところです。

以上になります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（2）について、担当者から報告させていただきます。

○生涯学習総務課長 報告事項（2）「ミニ企画展『計る・測る・量るー”はかる”道具のいま、むかしー』の開催について」、ご説明いたします。

町田市立自由民権資料館の夏休みに小・中学生をターゲットにしたミニ企画展示でございます。人がいろいろ判断したり決めたりするために、“モノ”を“はかる”ことは、とても重要です。この“モノ”を“はかる”ことに焦点を当てた展示でございます。今回の展示で、昔に使われていた道具をご覧いただきながら、単位の移り変わりや漢字の使い分けを実感していただければと思います。

開催期間は2024年7月20日から9月1日まででございます。自由民権資料館の展示室1のワイドケースなどを使って展示を行います。関連企画といたしまして、新紙幣に描かれている人物との背比べコーナーや、升や徳利などの昔の道具に関するクイズを用意し、子どもたちの夏休みの学習の機会といたします。

周知方法でございますが、「広報まちだ」への掲載、SNSでの発信、小・中学校へのチラシ配布などを行ってまいります。

説明は以上です。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（3）について、担当者から報告させていただきます。

○生涯学習センター長 報告事項（3）『平和祈念事業』の開催について、ご説明いたします。

生涯学習センターでは、毎年８月上旬に「夏の平和イベント」と称して平和祈念事業を実施しております。町田及び日本が経験してきたアジア・太平洋戦争の記憶を振り返るとともに、平和のあり方を考える機会とするため開催いたします。当時を語れる方々は高齢化しておりまして、継承が年々難しくなっております。2023 年度に引き続き大学生が参加し、戦争体験の継承に取り組みます。また、今年度は現在起きている戦争についても考えるきっかけとして、ウクライナの子どもたちが描いた絵画の展示企画「世界の子どもたちが見た平和と戦争展」も実施いたします。

昨年度と比較して新たに追加しました企画は、お手元に表がございますが、１ページ目の今申し上げた「世界の子どもたちが見た平和と戦争展」、２ページ目の「シリア料理を作って文化を学ぼう」と、「美術と音楽にみる戦争」となります。お手元がございます２枚が本事業のチラシになります。このチラシは夏休みの宿題ですとか自由研究のヒントとなるように、主に子どもとかその保護者に向けて周知するためにつくられたものと、一般向けにつくったものをおつけしております。

説明は以上になります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますか。

○関根委員 私も何回か参加させていただきましたが、この平和祈念事業は改めて戦争について考えるととてもよい機会だと思います。今年度はウクライナの子どもたちを取り上げるということですが、現在平和な毎日を送っている町田市の子どもたちにも、今の今も戦争で苦しんでいる同年代のウクライナの子どもたちを意識することで、自分ごととして平和とは何だろうと真剣に考えてほしいと思います。ぜひたくさんの方々に参加していただきたいと思っております。

以上です。

○教育長 以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（４）について、担当者から報告させていただきます。

○市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（４）「『５７５７７展２nd』の実施報告について」、ご説明さしあげます。

文学館では、４月２０日から６月２３日まで、若い世代を中心に人気が広がっている短歌をテーマとした展覧会「５７５７７展２nd」を開催しました。期間中の総観覧者数は６,０６１人で、会期５６日間の１日平均は約１０８人となりました。

本展は、2021 年度に開催した「５７５７７展」の第２弾で、前回の主要層であった 20

代をターゲットに、いつでも誰でも参加できるデジタルの可能性と、展示空間を利用して作品を展示するリアルな優位性を駆使し、歌人と観覧者の双方向的なつながりを創造することを試みました。

会期前から出品歌人が制作する写真短歌誌「うたらば」とのコラボ企画や、Xを利用した短歌募集、Youtubeの動画配信を実施するなど、SNSを中心としたデジタルコンテンツを最大限活用するよう努めました。その結果、短歌募集では2,390首の応募があり、SNSと展示を連動するという新たな楽しみ方を創出することができました。また、Xのフォロワーは会期中に800人以上増加し、「ことばらんど」のプロモーションとしても大きな成果となりました。

展示室にはデザイン性を意識した空間をつくり、選出された短歌が記されたモビールやパネルを掲示したり、言葉が書かれたボールや積み木などを使って、自分だけの短歌がつくれるコーナーを設置しました。また、関連イベントとして、出品歌人によるトークショーや、短歌を楽しむ人たちが交流できるイベント「57577フェス」を開催し、楽しみながら現代短歌の魅力に触れていただくことができました。

来館者の傾向としては、20代の女性や若いカップルの姿が多く、アンケートでも20代が41%と高い割合を占めました。居住地では都内からの方が28%と最も多く、次いで、東京、神奈川以外の地域の方々と、北海道、大阪、福岡など、全国からご来館いただくことができました。また、SNSを見て来館したと回答したお客様が46%を占め、SNSとの連動が集客に結びついたことがうかがえます。感想には、「心を動かされる短歌の数々に涙が出てしまいました」、「五七五七七を作れるコーナー、とても楽しくクスクス笑ってすごしました」といったものや、「あふれ出す 想いはこんなに光るから ここはことばが またたく夜空」といった短歌形式のものがありません。

報告は以上となります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますか。ーよろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

最後に、報告事項（5）について、担当者から報告させていただきます。

○市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（5）『『チリとチリリ どいかや絵本の世界展』の開催について』、ご説明さしあげます。

文学館では、7月20日から9月23日まで、自然や小さな生き物たちをいとおしむように繊細で優しいタッチで描く絵本作家、どいかやさんの展覧会を開催します。本展では、

おかっぱ頭で真っ赤なほっぺがトレードマークの２人組、チリとチリリが自転車に乗って不思議な世界を冒険する「チリとチリリ」シリーズを中心に、どいさんが描くワクワク・ドキドキする不思議な世界をご紹介します。本展を通じて、自然や生き物たちとの温かな触れ合いを楽しんでもらい、チリとチリリのように、自然の中の不思議を探し出してもらうきっかけになればと思います。

観覧時間は午前 10 時から午後 5 時、観覧料は無料となっております。関連イベントとして、オープニングイベント「チリとチリリのおもちゃのおんがく会」を 7 月 20 日に開催いたします。また、ワークショップとして、風鈴やちょうちんづくり、どいかやさんの「絵本づくりのこと」という記念講演会などのイベントを実施いたします。

なお、オープニングイベント終了後には、引き続きまして市民文学館来館者 100 万人達成セレモニーを実施いたします。

報告は以上となります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

予定された本日の議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様あるいは事務局のほうから何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で町田市教育委員会第 4 回定例会を閉会いたします。

午前 10 時 27 分閉会